

笑ってごらん

第 531 号 H. 27. 11. 10 発行

～今日のことば～

高い壁を乗り越えた時、
その壁はあなたを守る砦となる。



◇◆7日(土)、最終のオープンスクールであった。予定よりも10名ほど多い参加者を得ることができ、「有終の美を飾る」ことができたのではないかと思います。参加者はそれぞれ熱心に希望学科の体験に取り組んでいた。また、質問コーナーへはたくさんの参加者が押し寄せ、急遽増設しなくてはならないほど賑わっていた。恐らく不安に感じていたことを解消し、安心して受験に臨むことができると思う。◇◆オープンスクールを中座し、私は『南さつま市制施行10周年記念式典』へ出席した。会場は1,500人ほどの招待客・一般市民が参集し、本市の節目を祝った。大笠中学校・笠沙小学校の校歌を作ったシンガーソングライター辛島美登里さん(私の高校時代の先輩!)も登場し、鹿児島のために作った歌を披露。この日のために結成された市青少年少女記念合唱団の歌声も披露された。式典後行われた「焼酎フェア」には小泉進次郎衆議院議員も登場、短い時間ながら本市の焼酎の味を堪能されていた(写真は本校ブログを参照のこと)。小泉議員は常に多くのカメラに取り囲まれていたので、邪魔無くアップ写真が撮れて嬉しかった！◇◆「税に関する作文」において7名の3年生が入賞した。中でも3年9組六田愛梨さんは国税庁長官賞という熊本・大分・宮崎・鹿児島4県における最高賞に選ばれ、国税庁ホームページに掲載されるとのこと。12月14日(月)本校にて知覧税務署長より表彰。併せて、「海を詠う南さつま短歌コンクール」では特選13名(うち3名特別賞)、佳作20名の快挙。15日(日)ふれあいかせだにて表彰。おめでとう！◇◆趣味で佐伯泰英さん著作の時代小説シリーズを読んでいることはこれまでに何度か紹介したね。このところしばらく休止して別な本を読んでいた。それは司馬遼太郎さん著作の『胡蝶の夢』(全4巻)である。このシリーズに取りかかったのには理由がある。それはこの著作には順天堂を開いた佐藤泰然氏が登場し、日本で初めての『病院』(診療所・療養所ではない)が誕生したことが書かれているからだ。順天堂といえば、本校看護学科の奨学病院である静岡病院の関連機関である。著作は医師:松本良順氏のほか、弟子:島倉伊之助という風変わりな人物を中心に、蘭学を学んだ若者たちの目を通して徳川政権の崩壊を表現している作品。佐伯氏著作にかなり慣れてしまっているため大変読みづらかったが、勉強になった。図書室へ寄贈したので、興味ある人は読んでみて欲しい。



感謝道

◇◆8日(日)、『全国書道パフォーマンスグランプリ IN 南さつま』が加世田運動公園体育館にて行われた。北海道・四国・九州各地からの参加校8校(県内は加世田高校・鹿児島実業高校・本校)がパフォーマンスを披露。作品テーマは島津日新公いろは歌。それぞれ工夫されたパフォーマンスを楽しむことができた。◆審査委員長は紫舟さん。NHK大河ドラマ『龍馬伝』の題字を書かれた女流書家。各校代表の生徒と共に、柔らかい羊毛で作られた毛先の長い特注筆で、一枚の紙に「力」という文字を書く場面があり、紫舟さんの書く力強い文字に魅了された。また、その代表生徒は特注筆を1本ずつプレゼントされた。



◆さて、鳳凰高校書道部の作品は坊津を題材としたもの。紫舟さんから「絵と文字のバランスの良い作品。品を感じる」との高い評価を得、3位(紫舟特別賞)に輝いた。病院実習などで練習時間も多くとれず、今回「胸を借りる」つもりでグランプリに臨んだ本校書道部員にとって嬉しい結果となった。ちなみに、優勝は高松西高校、準優勝は上五島高校だった。